

高知市

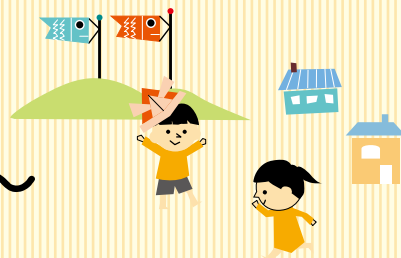


社協だより



子育てひろばつみき

～親子がほっとできる居場所～



親子で集まれる居場所づくりを目指し、昨年7月にオープンした「子育てひろば つみき」。

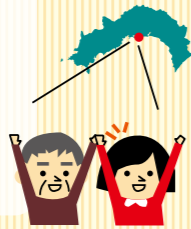
上街地区の民生委員児童委員さんや近隣のボランティアさん、会場を提供している「まっことネット細木」のスタッフさんなど、たくさんの方々の協力により毎月開催されており、現在では10組近くの親子が参加し、ほっとできる大切な居場所になっています。



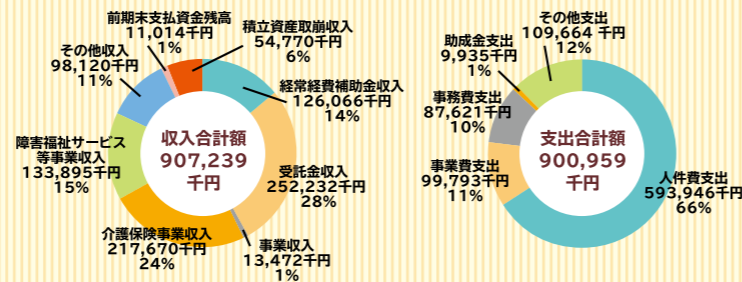
- ②③ 平成30年度事業計画・収支予算
- ④ 「団塊世代」が考える支え合いのススメ」・第1回西部ブロック交流会
- ⑤ 出張法律相談のご案内・障害者スポーツボランティア養成講座のご案内・接客ですぐに使える手話講座のご案内
- ⑥ 第3回、第4回高知市社会福祉法人連絡協議会設立準備会～法人の枠を越えた連携を目指して～
社会福祉協議会と国際NGOとの連携協定
- ⑦ 心の窓に・社協への声をお待ちしております
- ⑧ 土佐山学舎9年生「ゴトゴト石」商品売上の一部より歩行車を寄付・ご寄付御礼・社協会員募集

平成30年度事業計画・収支予算

地域のさまざまな生活課題に真摯に向き合い、「誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現」に向けて取り組めます！



平成30年度予算



1 安定した法人運営と地域から信頼される組織づくり

「誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現」を目指して、市社協事業全体の経営、管理業務などが効果的に遂行できるように、法人の運営を行ってまいります。

1. 社協運営事業	124,816千円
2. 地域貢献事業	6,264千円
3. 基金運営事業	- 千円
4. 社協啓発事業	1,228千円
5. 保健福祉センター等管理事業	10,495千円
6. 指定管理事業	91,148千円



高知市内の社会福祉法人が集まり、地域貢献事業の実施に向けた意見交換を行っています。

2 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり

7. 地域福祉活動推進計画事業	71,446千円
8. ボランティアセンター事業	150千円
9. こうち笑顔マイレージ事業	15,547千円
10. 障害者社会参加促進事業	14,203千円
11. 共同募金事業	- 千円
12. 名士チャリティ色紙展示即売会	2,212千円
13. まごころ銀行事業	1,360千円

●「我が事」の地域づくりを推進する住民の話し合いの場づくり
住民一人ひとりが「自分や家族が暮らしたい地域」はどんな場所なのかを考え、地域の様々な課題に関心を寄せてもらうための話し合いの場づくりをお手伝いします。

●「丸ごと」受け止める場としての総合相談の体制づくり
お住まいの地域の中で、日常生活や地域の中での困りごとなどを気軽に立ち寄って相談できる「なんでも相談所」を設け、専門機関へつなぐなど、解決に向けての体制づくりに取り組んでいきます。



●地域福祉活動推進計画の評価及び次期計画の策定
平成25年から30年度までの6ヵ年計画の最終年度として、これまで取り組んできた「おたがいさまの意識の醸成」や「小地域での支え合いの仕組みづくり」の活動などの評価、次期計画策定の体制整備を行います。

●障害者の社会参加促進
障害者の社会参加促進のため、以下の事業を実施します。
① 市民を対象とする広報・啓発事業
② 障害者理解を促進する事業
③ 障害当事者の日常生活の充実・向上を図る各種事業

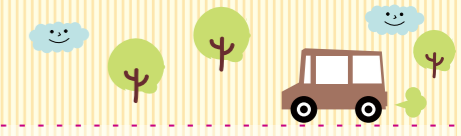


3 地域住民が自立した生活を営むことができるための権利擁護体制の確立

地域の皆さんが抱える生活課題に対し、一緒に解決できるよう関係機関と連携・協働しながら伴走的な支援に取り組んでいきます。

14. 成年後見サポートセンター事業	16,927千円
15. 日常生活自立支援事業	18,672千円
16. これからあんしんサポート事業	4,846千円
17. 高知市障害者相談支援事業	12,080千円
18. 生活福祉資金貸付事業	10,170千円
19. 社会福祉金庫貸付事業	328千円
20. 生活困窮者自立相談支援事業	40,834千円
21. 一時生活支援事業	5,554千円
22. NEW! 家計改善支援事業	5,367千円
23. NEW! 就労準備支援事業	2,927千円

●生活に困りごとを抱える方々への支援体制を強化します
平成30年度は、生活困窮者の自立を支援する事業において、現在行っている自立相談支援、一時生活支援に加え、新たに家計改善と就労準備を支援する事業が始まることになりました。これら2つの新事業は、いずれも高知市からの委託を受け、生活困窮者自立支援事業の一層の充実化を目指して実施するものです。具体的な事業内容につきましては、下記の(1)および(2)をご覧ください。



(1)「家計改善支援事業」(平成30年4月開始)
家計に関する悩みに寄り添いながら、相談者自身が現状を理解し、将来に希望を持ってもらうことを支援するものです。例えば、一緒に家計表を作成する中で、滞納の解消や債務の整理を行うなど、家計改善のための支援を行います。

(2)「就労準備支援事業」(平成30年10月開始)
すぐには一般就労が困難な方に対して、働く準備として、就労に必要な基礎能力の形成を計画的に支援するものです。例えば、ボランティア活動や就労体験などへの参加を促し、生活習慣や社会生活に必要な能力を身につけていただくことにより、就労に向けたスキルを培います。

4 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施

高齢者や障害のある方が、日常生活を送るうえで介護やその他の支援が必要になっても、その人らしい暮らしを続けることができるよう、さまざまな在宅福祉サービスを提供します。

24. 訪問介護事業	33,348千円	31. 生活介護事業	68,852千円
25. 居宅介護支援事業	23,821千円	32. 日中一時生活支援事業	1,668千円
26. 通所介護事業	230,219千円	33. 就労継続支援B型事業(きずな)	47,196千円
27. 基準該当生活介護事業	4,072千円	34. 相談支援事業	6,553千円
28. 居宅介護等事業	8,892千円	35. 生きがいデイサービス事業	6,732千円
29. 同行援護事業	11,406千円	36. 外出支援サービス事業	5,057千円
30. 移動支援事業	310千円		



毎月第3土曜日にデイサービスふれあいサロンを開催します

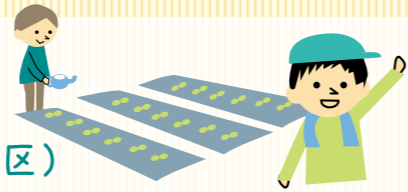


春野仁ノ地区の高齢者の買い物をお手伝いします



生活動作の維持向上を目指した機能訓練を実施します

楽しくないと続かない! 「団塊世代」が考える 支え合いのススメ♪ (高知市一宮地区)



人と人のつながりが薄くなった地域社会。それを結び直すには、世代を超え、男女問わず、全ての方々の参加が求められています。しかし、長く会社勤めをしてきた方々が、退職を期に地域社会に参加していくことはなかなかハードルが高く、容易ではありません。

そこで、まずは自分たちが楽しみながら地域活動に参加できる活動母体を作ろうと考え、平成28年9月、「団塊世代の地域デビュー」を活動目的とした「土佐いっく成年団」が発足。メンバーは15名で構成され、自分たちの「やりたいこと」を中心としたセミナーの開催や交流イベントの実施。また、平成29年12月からは、地域の畑を借りて野菜を育てる「農園プロジェクト」も展開し、農作業を通じて人と人のつながりを育んでいます。

これからは、地域の中での様々な困りごとに対応する生活支援サービスのサポート役としての活動も視野に、みんなで一緒に「こんなことができるね」と話しながら、社会参加の場を拡大していきます。



福祉委員

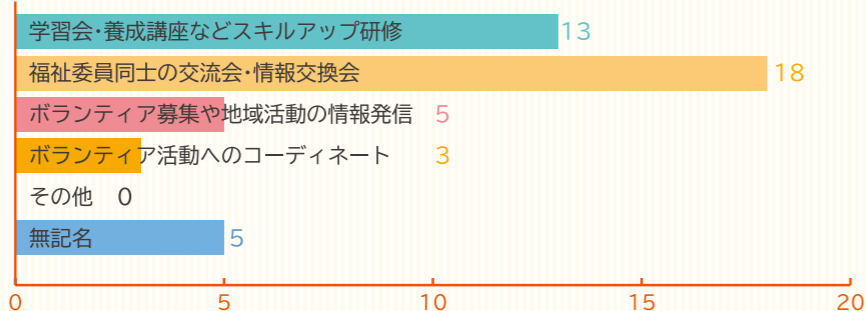
～第1回西部ブロック交流会～を開催!

平成26年度から始まった「福祉委員制度」は、今年で5年目を迎えました。高知市西部ブロックでは、5地区(旭・朝倉・鴨田・初月・鏡)全てに福祉委員が委嘱されたことを記念して、3月2日、西部ブロック交流会を開催しました。

当日は、当協議会会長より、国が新たな福祉改革の理念として提言した「地域共生社会」について、現在の社会問題や時代背景なども踏まえ、「現代社会の動きと福祉委員制度～求められる地域の担い手・福祉委員」と題して講演。その後のグループワークでは、福祉事業所「Renee」に、シフォンケーキとコーヒーの出張販売に来ていただいたこともあり、和やかな雰囲気の中で交流ができました。また、この交流会が刺激となり、「地域でサロン活動を始めたい」との声があがるなど、新たな展開の兆しが見えた交流会となりました。アンケートでは、今回のような交流会や情報交換会、研修会を望む声が多く聞かれ、今後も福祉委員さんが、地域で活躍できるような支援を住民の方と一緒に企画していきたいと思えます。



「福祉委員」としてどんなサポートがあれば活動しやすいか



新たな出張法律相談がはじまりました

(総合法律支援法の改正により特定援助対象者法律相談援助制度ができました)



認知機能が十分でない方には、近隣に親戚がない等の理由で、法的問題を抱えていても、ご自分で法律相談を受けるために行動することが難しい場合があります。このような方に対し、法律の要件を満たす支援者の方から法テラスにご連絡をいただくことにより、弁護士や司法書士が支援者と連携して法律相談を実施するという制度です。ご自宅や福祉施設などでも相談が受けられます。

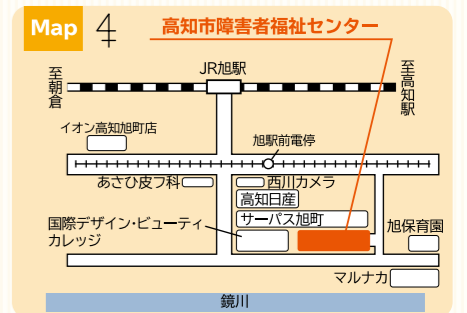
詳細については、法テラス高知へ 050-3383-5577

障害者スポーツボランティア養成講座のご案内

ユニバーサルスポーツである「ボッチャ」を題材に行うボランティア養成講座です。講義及び障害者スポーツボランティアの実践をしながら楽しく学べます。



- 対象 市内在住で、ボランティアに興味のある方。
- 日時 6月30日(土) 13:30～15:30
- 会場 高知市保健福祉センター(塩田町18-10) 3F大会議室
- 定員 先着12名
- 受講料 無料
- 講師 高知県ボッチャ協会
- 申込期間 6月1日(金)～6月22日(金)の間で、直接またはお電話で下記まで。受付時間は8:30～17:30で、土・日曜日は休み。



接客ですぐに使える手話講座のご案内

「高知市手話言語条例」が平成28年7月に施行されました。この条例は、市民に手話は言語であるとの認識を持ってもらうとともに、行政の役割としては、手話を活用するための環境整備を行うこと、事業者の役割としては、耳の不自由な方が使いやすいサービスを提供するよう努めることが謳われています。それに伴い、平成29年度は11月と今年の2月に「接客ですぐに使える手話講座」と題して講座を開催しました。

この講座は、高知市の委託を受けた障害者福祉センターが、高知県聴覚障害者協会の協力をいただき開催したものです。全8回の日程で行い、最終日には、手話・口話(口の動き)・空書(空中に指で文字を書くしぐさ)や、身振り手振りなどを使って調理実習を行い、その後手話による接客のロールプレイング(演技実践)を実施しました。

平成30年度も実施予定ですので、参加希望の方は、ぜひお問い合わせください♪

参加者の感想を一部ご紹介します



色々工夫されていて、楽しく手話を学ぶことができました。接客に活かしていきたいです。

自営業68歳女性

独学では難しそうなお手話も、楽しく習うことができました。いろいろな世代の方やろうの方とお話しすることができ、良い経験になりました。

大学生21歳女性

毎回講師が変わって、指導が変化に富んでいて良かった。毎回が面白く、受講が楽しかった。最終日の調理講習も良かったです。

ボランティア72歳男性



お問い合わせ先 障害者福祉センター

〒780-0935 高知市旭町2丁目21番地6 TEL: 088-873-7717 FAX: 088-873-6420 E-mail: asahi@kochi-csw.or.jp

第3回、第4回高知市社会福祉法人連絡協議会設立準備会 ～法人の枠を越えた連携を目指して～

多様化する地域課題の解決を目指し、高知市内の社会福祉法人が連携しながら新たな仕組みづくりを進める場として「高知市社会福祉法人連絡協議会」設立に向け、準備会を開催しております。

準備会は高知市内の高齢、障がい、児童等の各分野から10法人11名で構成され、これまで、生活に課題を抱えた方へ対する相談体制、就労準備、法人職員の人材育成など、社会福祉法人の連携による取組について協議。

2月に開催した第3回準備会では、香川県社会福祉協議会の日下直和次長をお招きし「香川おもいやりネットワーク事業」の取組についての報告をいただき、社会福祉法人の連携による実践とその可能性について意見交換を行いました。



また、4月の第4回準備会では、高知市社協の地域福祉コーディネーターより、地域に広がりを見せている子ども食堂や高齢者サロン、多世代型の居場所づくりについての情報提供を行い、その中での社会福祉法人の役割や今後の可能性について活発な議論がありました。

今後は平成30年度内の設立に向けて、準備会を重ねながら事業計画、財政計画の素案づくりに取り組んでいきます。



社会福祉協議会と国際NGOとの連携協定

2月27日、地域社会におけるファンドレイジング活動および寄付文化の醸成を推進するため、募金活動について豊富な知識と経験を持つ国際NGO(国境なき医師団日本、ワールド・ビジョン・ジャパン、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、プラン・インターナショナル・ジャパンの4団体)と日本の各市区町村で地域に密着した福祉活動を進める社会福祉協議会(高知市社会福祉協議会、文京区社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、福岡市社会福祉協議会の4団体)との連携協定を締結しました。

今後は「寄付に関する知識と経験」を持つ国際NGOと、「地域との深い繋がり」を持つ地域福祉団体が、両者の足りないものを互いに補い、地域の抱える課題の解決に向けて取り組んでいくとともに、日本の寄付文化の発展を目的として、「先進NGO/NPO・地域福祉団体寄付文化醸成及びファンドレイジング連携プロジェクト」に取り組んでいくことになりました。(事務局:日本地域福祉ファンドレイジングネットワークCOMMNET)



ファンドレイジングとは?

地域に存在するさまざまな社会課題や困っている人の状況を伝え、それらを解決するための活動に必要な支援者や資源を募る取組です。

- NGO = 非政府組織 (Non Governmental Organizations)
どの国の政府にも所属せずに、国境を越えてさまざまな貢献的活動を行う団体の総称。
- NPO = 非営利組織 (Non Profit Organization)
民間のボランティア活動を始めとする、さまざまな非営利活動を行う団体の総称。

心の窓に

Vol.7 厳寒の冬を振り返る

石塚 直人 新聞記者
美作大学非常勤講師

この冬の寒さは格別だった。高知でも一日の最高気温が10度以下、最低気温が零度以下の日は珍しくない。とはいえ、それが4、5日続くのは異例で、しかも3度も繰り返された。

寒さに凍えながら、電気や水道のありがたさを思う。スイッチを押すとエアコンが作動し、蛇口をひねるとお湯が出る。しかし、この幸運を享受できる人は地球上にどれだけいるだろうか。

ユニセフ親善大使の女優・黒柳徹子さんが、かつてタンザニアで出会った少年の写真を、2月のテレビで見た。彼は栄養失調による脳障害のため、話すことも歩くこともできない。別のシーンでは、破傷風で死にかけたインドの少年が黒柳さんに「ウ、ウウ・・・」と声を絞り出した。「あなたの幸せを祈っています」だったという。

黒柳さんは著書で2人の思い出とともに、タンザニアの村長が「大人は死ぬとき苦しいとか痛いとか言い

ますが、子どもは何も言いません。大人を信頼し、黙って死んでいくのです」と話したエピソードも紹介している。ほんの少しの食べものと薬があれば・・・。

国際NGO「オックスファム」によれば、昨年6月までの1年間に世界で生み出された富の82%(約84兆円)は最も豊かな1%(7400万人)が独占し、これは1日約200円未満で暮らす絶対的貧困をなくすのに必要な額の7倍強。多国籍企業とこれに連なる大富豪の横暴を食い止めることが必要だ。

タックスハイブン(租税回避地)対策や富裕層への課税強化が進まないのは、米欧諸国の政府首脳が裏でそれと結びついているからとされる。あの米国も、1981年に始まるレーガン政権まで格差は少なかった。わが政府がその後、米国に倣って大企業や富裕層への優遇措置を強め、その代償が消費税増税と福祉切り下げだったのが歯がゆい。

社協へのお待ちしております

高知市社会福祉協議会が行う福祉サービスについて、ご不満やご要望がありましたら、下記の担当者までご連絡ください。皆様のご意見をもとに、福祉サービスの向上に努めてまいります。

社会福祉法人高知市社会福祉協議会 苦情解決体制(平成30年度)

■ 苦情解決責任者(法人共通)

事務局長 舩田 郁男 TEL 823-9515

■ 苦情受付担当者

施設及び事業	役職	苦情受付担当者	電話
高知市社会福祉協議会に関する事	総務調整課長	竹島 直孝	823-9515
介護・障害事業等に関する事(全事業所共通)	在宅生活応援課長	千頭 哲	820-6865
地域福祉関係事業等に関する事	地域協働課長	高橋 幸子	856-5539
生活支援関係事業等に関する事	共に生きる課長	中島 由美	856-5539
障害者等の就労支援、B型事業所等に関する事	しごとづくり課長	徳広 祐一	873-7790
高知市保健福祉センターに関する事	総務調整課長	竹島 直孝	823-9515
高知市障害者福祉センターに関する事	センター長	井上 美智	873-7717
南部健康福祉センターに関する事	センター長	森元 博章	878-9060
東部健康福祉センターに関する事	センター長	松井 成起	882-9380
土佐山健康福祉センターに関する事	センター長	掛水 浩	895-2111
春野あじさい会館に関する事	センター長	大佛 浩司	894-5977

■ 第三者委員(法人共通)

入交 征章 TEL 860-2275
和田 節 // 845-1906
高野 亜紀 // 879-0217
(中西高野法律事務所)

苦情解決のしくみ



平成29年度 苦情受付 件数2件
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- ◆ 申出について、秘密は厳守いたします。
- ◆ 申出人との話し合いにあたっては、必要に応じて本協議会職員以外の第三者委員が立会い、助言をいたします。
- ◆ 第三者委員に直接申し出ることもできます。

土佐山学舎9年生「ゴトゴト石」商品売上の一部より歩行車を寄付

平成30年2月9日、土佐山学舎9年生一同から土佐山健康福祉センターへ歩行車を1台ご寄付いただきました。この歩行車は、土佐山学舎9年生が地域貢献をテーマとした総合的な学習の授業で、受験生が合格祈願に訪れることで知られる地元の名所「ゴトゴト石」にちなんで開発・販売した文房具の売上の一部からご寄付いただいたものです。

売上の一部を地域に還元する際、「これまで土佐山の地域活動に貢献されてきたシニア世代へ感謝の意を伝えたい」との思いから、土佐山健康福祉センターを寄付先の一つとしてご指定いただきました。また、隣接するとさやま保育園にも「これからの未来を築いていく園児たちに希望を持ってもらいたい」との思いから三輪車と砂場用テーブルをご寄付されたとのこと。

寄付者のご厚意をありがたく受け止め、これからも地域に寄り添った活動を行ってまいります。



ゴトゴト石って？

土佐山桑尾の崖にある巨大な石のことです。押すとゴトゴト揺れませんが不思議と落ちないことにちなみ、受験生が合格のために祈願に訪れる名所として知られています。



ご寄付の詳細

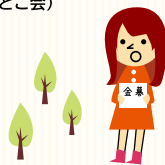
- 日 時 平成30年2月9日(金)
- 内 容 土佐山健康福祉センター 歩行車1台
とさやま保育園 三輪車1台、砂場用テーブル1台
- ご寄付者 高知市土佐山桑尾13番地
高知市立義務教育学校 土佐山学舎 平成29年度9年生一同

たくさんのおもいやりありがとうございます

♥ 名士チャリティ色紙展示即売会

皆様のご協力により、売上額2,814,840円となりました。ありがとうございました。平成29年度は次の団体に助成しました。

- … 障害者福祉サービス事業所びーねっと
- … 就労支援事業所オーシャンクラブ(てくとこ会)
- … NPO法人脳外傷友の会高知青い空
- … 社会福祉法人ねはんの会
- … 特定非営利活動法人NPO作業所朝顔
- … NPO法人あさひ会
- … みどり作業所
- … 特定非営利活動法人ブルースター
- … ライフステージあおぞらセンター
- … 特定非営利活動法人一ちえ
- … NPO法人まあるい心ちゃんじの応援団 (敬称略、順不同)



♥ 平成29年度募金実績額



昨年度は赤い羽根共同募金にご協力いただき、ありがとうございました。皆様のご善意の募金は、地域の見守り活動やボランティア団体等の地域福祉活動の推進に役立てられます。

♥ ご寄付御礼

- 宮地主之祐様…お香典
- 伊瀬典子様…書籍5冊
- 故 竹島富美子様 ご遺族…手芸品他
- 匿名…テレホンカード62枚 他
- 第15回高知市民児連親睦福祉チャリティコンパ
代表世話人 北岡廣明様
…金一封

社協会員募集！

当協議会は「誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現」を目指し、地域の皆様と共に歩んで参ります。当会の活動にご賛同し、新規ご入会やご寄付(内祝・香典返し・遺贈など)をご検討いただける方は、寄付担当(823-9515)までお気軽にご連絡ください。

個人会員

会費一口あたり 1,000円

法人会員

会費一口あたり 5,000円

※平成30年度よりご入会いただける方は上記の金額となります。

社会福祉活動は、皆様の善意に支えられています。内祝・香典返しなど、ご寄付は高知市社会福祉協議会へお願いします。社協に関して、聞いてみたいことやご意見などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

編集・発行 社会福祉法人高知市社会福祉協議会

〒780-0065 高知市塩田町18番10号 高知市保健福祉センター1F
TEL 088-823-9515 / FAX 088-823-8059

Eメール shakyo@kochi-csw.or.jp
HP <http://www.kochi-csw.or.jp/>
Facebook「ほおっちょけん」もぜひご覧ください！

🔍 ほおっちょけん 🔍 検索